

夢の海・科の木ため池 ハザードマップ



「ため池ハザードマップ」とは

「ため池ハザードマップ」は、ため池が決壊氾濫し、溜められている水が下流の市街地等流れ出た場合に、いち早く安全に避難を行うことで、災害による被害を減らすことを目的に作成しています。

「夢の海・科の木ため池ハザードマップ」はAマップ、Bマップに分かれており、浸水被害が想定される区域や、公共施設・避難所を図面に表示するなど、避難に有効な情報が掲載されています。

「夢の海・科の木ため池 ハザードマップ」の表示内容

●浸水想定区域

ため池が決壊氾濫した場合に、想定される浸水区域を地図上に水深別に着色し、表示しています。

●想定最大水深

ため池が決壊氾濫した場合に、想定される最大の水深を色の違いにより表示しています。

●水の到達時間

ため池が決壊氾濫した場合に、流れ出た水が下流域へ最初に到達する時間を想定し、分毎(10分～60分)に赤線で表示しています。

「夢の海・科の木ため池 ハザードマップ」の活用方法

①あなたの住んでいる家の位置を確認しましょう。

- ・あなたの住んでいる家に○印をつけましょう。
- ・家のまわりはどれくらい浸水しますか？ _____ m 浸水の恐れ

②浸水時に最初の避難を予定する安全な避難場所と、そこから移動できる避難所までの「避難経路」に複数の赤い線を引きましょう。

避難場所() 避難所()

③実際に避難場所・避難所まで歩いてみて、危険な場所や避難にかかる時間、どの道を通って避難するかを確認し、地区内等で話し合いながら、あらかじめ安全な避難経路を決めておきましょう。

④家族でも避難経路について話し合ったり、ため池ハザードマップは分かりやすいところに保管するとともに災害時には携帯しましょう。

⑤地震・大雨時には、テレビ、ラジオ、インターネットなどの気象情報・災害情報・避難情報に注意しましょう。

決壊氾濫による浸水の深さ

